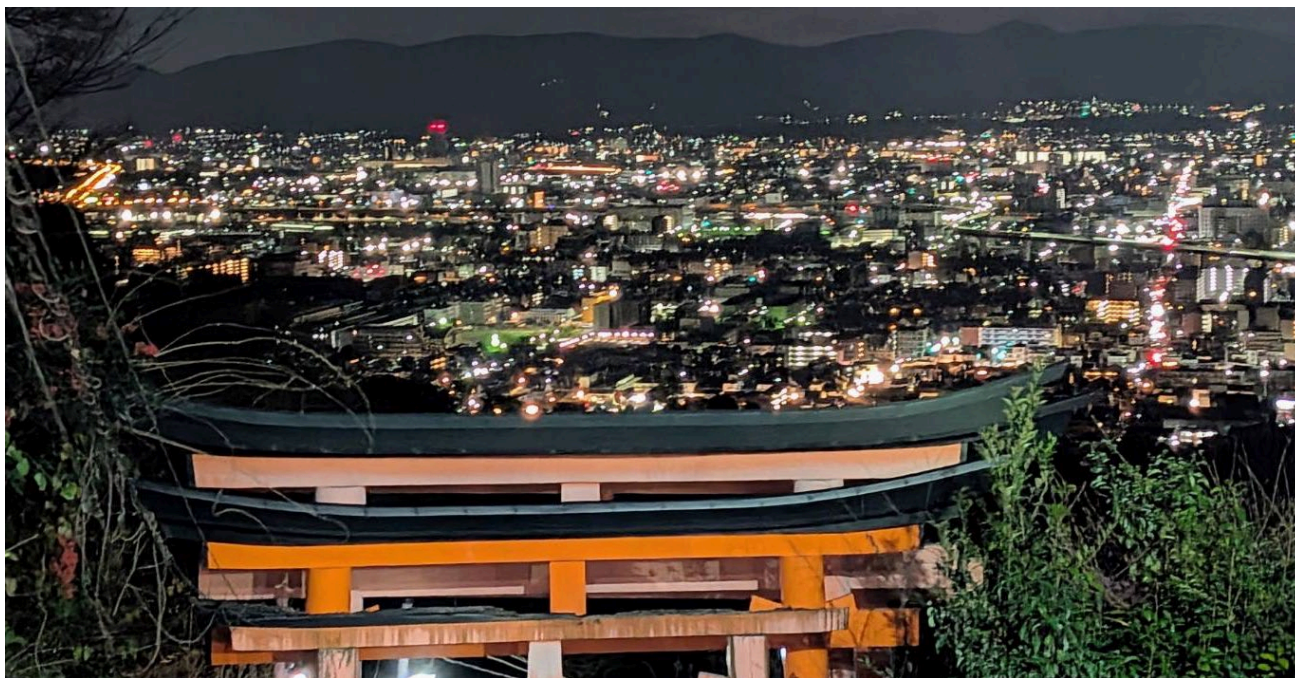


あけましておめでとうございます！



今年もよろしくお願い申し上げます。トップ写真は伏見稲荷大社奥の院からの、元旦午前1時のいぶやん撮影新年京都の夜景です。

（歌会参加者）前列左から、坂東和代、城雅代、黒田節子、福田知代子、きったん。後列左から、玉虫、HIKARIKO、小倉はじめ、いぶやん、西村康則、青藍

さて12月の鮪ヨタ話の続きですが、驚きました！なんと今年の初セリの落札値段が一匹5億円越えてしたね。空想よりも現実が上回ってしまいました。日本は好景気に向っているのでしょうか！そうであれば嬉しいことです。緊迫する世界情勢の中で、外交努力で平和を保ちつづけられるのでしょうか！そうあって欲しいものです。私達が五行歌の歌会で、自由に歌を発表し、自由な意見を述べられるのも、平和で自由な世の中であってのことです。今年末を象徴する漢字が「熊」とか「戦」ではなく、「平」とか「和」の文字であることを願うばかりです。

お手柔らかにたのんまっせ、熊さん、プーチンさん、トランプさん。

さて嬉しいニュースです。滋賀歌会(休会中)代表のきったん氏が久しぶりにきんきサロン実歌会に顔を見せて下さいました。切れ味のいいコメントを聞くことが出来ました。ありがとうございました。これからも時々遊びに来て下さることを願っております。また福田知代子氏が見学者として参加して下さい、いいお歌を置いて下さいました。お酒もいけるクチのようですので楽しみです、また遊びに来て下さい、お待ちいたしております。

今回の1席は玉虫氏、馬年にふさわしいお歌でゴールを駆け抜けました。2席はHIKARIKO氏、亡き父上との、梅を介しての交信のお歌、皆さんほっこり、しみり…。3席はいぶやん氏、自虐歌ですが本人曰く「今年はやるぞ、の裏返しの決意表明」、ホンマかなあ（影の声）。

（いぶ記）

第 323 回きんきサロン

- 1
朝ドラを見ていて
ふと思い出す
「やさしい日本語」
避難してください。は
逃げてください。
坂東和代 *
- 2
首を振り振り
後ずさりの馬も
騎手を乗せたら
覚悟の時
いざ ゲートイン
玉虫 16 点 一席
- 3
「天駆ける馬」
走り回りたいが
思考も行動力も
鈍くなり
マイペースの年に
黒田節子 6 点
- 4
額に巻いたタオル
降りてきた
安堵感のしづく
何回ちやいえんけど
今年もやれるかな
小倉はじめ *
- 5
懐かしい亡母の味
新鮮な生タラコの醤油漬け
粒々がブリッとふくらんで
これがなんとも
うめがった
城雅代 13 点 次点
- 6
かつて暮らした街
良き人の灯る街が
蹂躪される
燃え上がる怒りには
向かう先がない
青藍 12 点 次次点
- 7
一面の空襲跡に残る
焼け焦げ自動車で
どこかの兄やんと
遊んだ記憶
森の切株のように鮮明
きったん 10 点
- 8
天に天に
伸びゆく
梅の立ち枝よ
空の父と
花便り交信してるのかな
HIKARIKO 15 点 二席

- 9
元旦のゴミ
庭に三袋
いつものセリフ
来年は絶対
旅行に行くぞ
西村康則 *
- 10
やる前から
言い訳を考えている
勇気の尻尾を
ちょんぎっている
臆病なトカゲである
いぶやん 14 点 三席
- 11
いつも気分屋
困らせ屋のあなた
クリスマスに欲しい物
シャボン玉と話してくれた
愛おしくて抱きしめた
福田知代子 (見学者)

■(参加者:10 名) いぶやん・小倉はじめ・
きったん・黒田節子・城雅代・青藍・玉虫・
西村康則・坂東和代・HIKARIKO
(見学者) 福田知代子

■「*」印は 5 点以下、点数非開示。

■二月例会は「関西新春合同歌会」で休会です。

■編集長のひと言

編集長もこの 2 月で 82 才を迎えます。先週地域でのシルバー会という集まりがありました。平均年齢は 70 代かなと思いますが、私含めて 80 代の方も 5~6 人と多いです。新年初会合という事で、おぜんざいのふるまいがあったり、今年の抱負など述べあったり、ハーモニカとギターの伴奏で、かつての歌声喫茶のように童謡やナツメロ合唱で楽しい時間でした。そこでの皆さんの抱負の中に、こうして、元気に集まれて皆さんにお会いできるのが楽しみです。今の時間を楽しんで有意義に過ごせたらいいなあ！という声も多かったです。残された時間はいかほどかわからないけれど、悔いのない一年にしたい！との思いは共通でした。

考えてみますと五行歌も同じかなと感じます。歌を投稿して、本誌で皆さんとの交流もいいですが、歌会に出て、対面でお顔を見ながらその方の意見聞けるのも、臨場感があってとてもいいものですよ。歌会によっては、歌会後の飲み会の場もあります。きんきサロンでは伝統として歌会後の飲み会(名称:余韻会)が必ずあります。それが好きではないという方もおられますが、それが好きでと都合で歌会欠席だが余韻会には駆けつけるという方も、きんきサロンにはおられます。そんな皆さんと一緒に、またこの一年無事完走できたと思います。(はじめ記)